



同じ中学校に通う同級生、**戸山ミナちゃん**と**平山ジローくん**。米子の歴史や文化（カルチャー）のことにくわしい**かるちゃん**といっしょに米子城の魅力や謎に迫ります。今回は、史跡米子城跡保存活用計画について学びます。

**かるちゃん**：今年も、元旦の「新年明けまして米子城！」からのスタートだったね。

**ジローくん**：城山の頂上には500人くらいいたかな？びっくりするくらい大盛況だったよね。あんな光景見たのは初めてだったから、感動的だったな～。

**ミナちゃん**：日の出を待つ間も、**よなご城山勝手連**の人たちが甘酒や饅頭などを用意してくれていて、そっちも行列ができるくらいにぎわっていたわね。

**かるちゃん**：雲が厚かったのが少し残念だったけど、まあとにかく、皆さんすがすがしい気持ちで新しい年のスタートが切れたのではないかな。さて、新しいといえ、米子市教育委員会が新たに策定を進めている「**史跡米子城跡保存活用計画**」。今回は、このことについて触れてみよう。

**ジローくん**：保存活用計画って、どんな計画なの？

**かるちゃん**：ひと言でいうと、米子城跡を確実に保存し、後世へと伝えていくために、現状や米子城跡が持っている多様な価値を明らかにして、今後の保存管理や整備活用の基本方針を示す計画書ということになるね。

**ミナちゃん**：米子城跡は、平成18年に国指定の史跡になったことで、その価値が認められ、国の制度によって保護されているってことじゃないの？

**かるちゃん**：そういう面もあるけど、それで完結ではないんだ。例えば、現在国史跡になっている、湊山（城山）の本丸や二の丸などの保存、整備の検討はもちろん、三の丸や深浦など史跡に指定されていない部分の価値づけの明確化や、今後それらをどうするのかといった課題もあるしね。史跡の保護は、所在自治体が主体となって取り組んでいくんだよ。

**ジローくん**：確かに、貴重な史跡には違いないだろうけど、米子城跡の価値って言われても、いまいちよくわからないところがあるしね。

**かるちゃん**：なんとなく知っているようで知らない米子城跡の全体像、そして将来像。それらを体系的に示していこうというのが、この計画の狙いだね。

**ミナちゃん**：この計画書を見れば、米子城跡のすべてがわかるというわけね。

**かるちゃん**：そうだね。登山道をこういう具合に整備しますとか、天守にベンチを何台置きますとかといった具体的な話ではないんだけど、米子城跡の保存活用の基本となる重要な計画なんだ。そこで、広く市民の皆さんからもご意見をいただこうということで、**2月16日（木）**を期限として、現在、**素案についてのパブリックコメント**を募集しているんだよ。

**ジローくん**：ぼくたちも、素案を見て何かあれば意見を提出してもいいんだね。

**かるちゃん**：もちろんさ。市ホームページや市役所、各公民館、山陰歴史館などで素案を見ることができるから、君たちも勉強の成果をいかして、気づいたことがあれば出してみるといいよ。

**ミナちゃん**：今度、山陰歴史館の企画展「**絵図でたどる米子城の歴史**」を見に行くし、そのときに保存活用計画素案も見てみようかな。



新年明けまして米子城！の様子



新年明けまして米子城！の様子



米子城三の丸の中心部



山陰歴史館企画展  
「絵図でたどる米子城の歴史」

「史跡米子城跡保存活用計画」の策定が進んでいるようです。皆さんもぜひ素案をご覧ください！

（米子市教育委員会 文化課）